

ガザ  
ナワール子どもセンター  
冬休みイベント

# 寒さに負けるな!

## はじける笑顔!



子どもセンターでは冬休みイベントの真っ最中。パラシュートゲームや宝探しなどで盛り上がっています。例年になく冷え込んでいるガザの寒さにも負けずに、子どもたちは元気に駆け回っています。

「ゆっくり  
落ち着かせて……  
せーの! 持ち上げて!」



所長のアマルさんが  
飛び入り参加  
みんな大興奮!



「ボールが  
こっち来たぞ!」

子どもの  
作文から

### 「雨漏りがなくなったらいいな」



アッザさん

私はアッザ、11歳。絵をかくこと、劇、それからお話を書くことが好きです。友だちのオウのことも好き。

私の家は13人家族。お父さんお母さん、お兄ちゃんお姉ちゃん、それに弟と妹がいます。楽しい家族ですが、生活は本当に大変です。お家は小さくて屋根に穴が開いているので、冬の雨もりに困っています。部屋が一つなのに冬の間は水びたし。お父さんは仕事がなく、お母さんはお金がないといつも言っています。ちゃんとした屋根がほしいです。それから家具もほしいです。



ユーセフくん(11才)は環境保護を訴える

## 「パレスチナの春」は子どもたちから

ナワール子どもセンターの属するCFTAの各センターでは、最近子どもたちによるブログ作りにも力を入れています。そのきっかけは子ども自治会の選挙活動。候補者それぞれがブログを作って運動しました。2日間で700人がアクセスし、120人の大人も見に来たそうです。その後個人のブログ作りが始まりました。「子どもの権利」「児童労働」「色の世界」「世界の不思議なこと」「掃除」などのテーマがあります。占領やトンネル事故などについて自分の意見を述べているページもあれば、きれいな写真や映像をインターネットで見つけて貼り付けている子どももいます。

「掃除」をテーマにしたアハメドくんはエジプトのテレビで放映された「日本の学校での掃除」の映像をトップに持ってきていました。アラブ社会では学校の掃除を子どもや先生がすることはないので、アラブの人たちはとても驚いたり感心したりしているのです。この映像を持ってくることで、アハメドくんがごみを平気で捨てるアラブ社会の悪い習慣をいけないと感じていることがよく分かります。

日本でも子どもたちの間でブログは盛んですが、もっぱら

自分自身のことをブログに書いているケースがほとんどです。それに比べて、ガザの子どもたちは社会の事象や自分の意見を発信したいと考えています。

「子どもたちが技術を知って、自分の権利や意見について表現できるようになるのは素晴らしい」と指導員のバスマさんは言います。「子どもたちが外の世界と相互交流できるようになったのです。自分の意見と他からの引用の区別も教えています。他から引用したときはちゃんと出典をつけることもね。そうすれば、将来彼らが自分で書くときに役立ちますから」。

「色の世界」をテーマにしている別のアハメドくん(11歳)。「ぼくは色に関することを表現したかった。ブログを見た家族は驚いてた。僕が作ったと信じられないって。でも家族はみんなとても気に入ってくれた。いまはインターネットから情報を集めてるんだけど、そのうち自分で情報を作りたいと思っている。道を歩いているとこれだと思うときに写真が取れたらいいな」。

「世界の不思議なこと」をテーマにしているカーレドくん(11歳)。「友だちにいろんな不思議なことを知らせたいんだ。それから自分の目で見てビデオで撮影したいな。お父さんがブログを作りたいといったから、「簡単だよ、Eメールを送ってよ」と言ったんだ」。



「どこだ、どこだ??」



「急いで、あっちにありそう!」



「木の上にあるかもよ」



「見て! 宝を見つけたよ!」

**宝**の地図と、そこに示された秘宝を探せ!センター中を探し回って集めた宝のかけら。つなぎ合わせると3つの言葉が浮かび上がってきます。「わかった!協力、尊敬、分かち合い、だね!」



「宝を合わせるとどんな言葉が出るんだろう?」